



SEMI
PRO

10

KURUSU KAMYU
FILE NO.04

I'M NOT PROFESSIONAL
BUT, I HAVE A POLICY

OCT
2013.



This month's keyword

『高野山真言宗総本山の金剛峯寺』



I'm not Professional, But I Have a Policy

what's semipro?

素人以上プロ未満

好きだから、こだわりがある。

素人だからこそ言える事もある。

常識に縛られない表現の形。そんなあなたは立派な SEMI PRO

今回は、写経のセミプロ、クルスカミューさんにおいでいただきました。

まず **写経（じやくぎょう）** とは、
（wikipediaより）

仏教において経典を書写すること、またはその書写された経典のことを指す。写経は、印刷技術が発展していなかった時代には仏法を広めるため、またはひとつの寺院でも複数の僧侶で修行・講義・研究するために必要なことであった。その後、

写経することに功德があることが説かれるようになった。

それでは、空腹になると全ての単語が豚豚に見えてしまう、チャシューながしまがお話を伺いたいと思います。まずは写経に興味を持ったきっかけをお教えください。

元々、神社仏閣巡りが趣味だったのですが、昔の人が寺院への参拝の際、写経の奉納をし、その写経を寺院の僧侶に読誦（どくじゆ）していただき参拝の記念にしたと言った話がある雑誌の記事で読み、写経に興味を持ちました。

写経をやっていると、自分の変化はありましたか？

写経をやっていると落ち着くことが出来て、精神統一が出来る。お寺で写経を書くことがあるのですが、それは更に気持ちが引き締まり、

集中力が増えますね。

それ以外での写経の効果はなにかありますか？

写経をやることによってお経の意味や精神を知ることができたり、読経も出来るようになりました。

完成した写経は寺院に奉納されるのですか？

そうですね、写経奉納の際に奉納した証明として御朱印を押し印していただくのですが、それを集めています。

実際に写経体験した寺院は？

高野山に行った際、宿泊した宿坊寺院の

別格本山一乗院と、鎌倉市の長谷寺で

写経しました。やはり寺院特有の空気感の中で行う写経は、家で行うそれよりも力まずに自然に写経に没頭してできる、独特の空気が漂っていました。

印象に残った寺院はありますか？

高野山真言宗総本山の金剛峯寺です。

その周辺にも57ある宿坊と寺がとも印象的で、初めて着いた瞬間に、町全体から神聖な空気が流れて無意識でお辞儀しました。それくらい敵かで礼儀良くしなくちゃいけない空気感があり、この高野山（高野町）特有の**圧倒的な力がありました。**

【完成した「写経」以外でお寺巡りの際の持ち物にこだわりがあれば、お教えください。

数珠は必需品ですが、やはり御朱印を頂く為の**御朱印帳**ですね。

そうですね、なるほど。

何でもクルスカミューさんは、熊谷に幾度も遊びに来た事もあるそうですが、その中でオススミスポットなどありますか？

ファッションが好きで特に古着が好きです。熊谷は、古着好きが注目する古着タウンとしても有名ですね。その中でもずば抜けたセンスを感じる、古着屋 chumさんがオススミスです。熊谷に対する具体的なイメージはあまり無かったのですが、自分の考える地方都市と言った感覚からすると、とてもオシャレな街だったのでびっくりしました。

横浜市出身だそうですが、横浜市周辺でオススミスポットはありますか？

【いくとん藤が丘店】と言う、焼き肉屋さんですね。ホルモン焼きがメインの焼き肉屋さんで、カルビな

どの焼き肉のレギュラーメニューも美味しいです。特に烏龍茶・スープ・キャベツが無料でおかわり自由でお得なお店です。

それでは最後に、写経を行う目標について具体的にどうお考えですか？

さまざまな宗派がある中で、その教えや寺院自体の建立の違い等々挙げると切りがありません。しかし、少しでもその宗派のありがたい教えなどを自身の心や身体全体で理解し、それを他人や友達、家族に対して分け与え家族に対して分け与えられるようにしたいですね。

ありがとうございました！

編集後記

古来、日本で観光と言うと、神社仏閣巡りとご当地の名物を食べるのが観光の二大目的でした。

江戸時代の観光のメッカといえば、伊勢神宮と善光寺。そんな善光寺の御朱印はもてるん、今でも貰えます。ふと、歴史と写経や御朱印に興味を持ったなら、是非、善光寺に行ってみて、御朱印をいただいてみてはいかがでしょう？

もちろん、当時の人々と同じように写経をして。その瞬間、江戸時代の人々が感じた気持ちの共有と言つ、時空を超えたコミュニケーションが出来るのですから。

御朱印と写経の関係について



元々、御朱印が誕生したのは寺社に写経を納めた際の受付印と言う説がある。そのため、朱印を「納経印」と呼ぶこともあり、現在でも納経をしないと朱印がもらえない寺院が存在する。それ以外の多くの寺社では初穂料・御布施を納めることで朱印がもらえるようになっている。観光地や各種イベントで開催される**スタンプラリーは御朱印の集印を元にした物と言う説もある**。ただ、スタンプラリーとは違い、御朱印はおごそかな儀式でもあり、印に寺社名が入ることなどから、寺社で授与されるお札などと同等とされ、粗末に扱ってはならない物でもある。



KAKASHI
WHAT A WONDERFUL JAPANESE OBJECT

COMING SOON

DIGITAL BOOK MAGAZINE

SEMI PRO

BEARCANION PUBLISHER
KUMAGAYA, JAPAN



2013.10